

議会報告会 記録(概要) 報告書(総務班)

開催日時	令和 7年 8月 5日 (火) 午後4時00分 ~ 5時30分			
開催場所	日光市役所本庁舎 4階委員会室			
班 員	斎藤 伸幸(班長)	川島 憲朗(副班長)	筒井 巖	川村 寿利
	嶋田 正法	村上 正明		
参加者団体・人数	日光市消防団連合会(各消防団正副団長) 12名			
意見交換テーマ	日光市消防団の活動について			
意見・課題など			会議の中で出た解決方法など	
<p>①消防団再編に対する考えについて</p> <p>《メリット》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な運営 ・各消防団との連携強化 ・コスト削減</li> <li>・団員不足への対応 ・活動の質向上 ・資源の共有化</li> <li>・団員の減少</li> </ul> <p>《デメリット》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の防災力低下 ・活動範囲の拡大による負担増加</li> <li>・地域コミュニティの弱体化 ・統廃合への抵抗や対立</li> <li>・団員のモチベーションの低下 ・災害対応の遅延リスク</li> <li>・各消防団で違うやり方等の調整</li> <li>・団員数の減少や団員の出席率低下の可能性</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域である日光市の特性上、統合の難しさはあるが、再編に向けて準備している。(年3回程度、定例で情報交換)</li> <li>・出勤要請の範囲は1次、2次それぞれの要請によって対応</li> <li>・現状でも隣接2団は支援体制を整えている</li> <li>・支団制になっても応援体制の取り扱いに変わりはない</li> <li>・女性部の在り方について、本人の希望で所属は決められるように調整していく</li> </ul>	
<p>②各消防団の課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団員の募集の仕方や、団員の確保</li> <li>・仕事と消防団との両立</li> <li>・若い人がいないことに苦慮</li> <li>・ボランティア精神の希薄化</li> <li>・若手がコミュニケーションを嫌う現状</li> <li>・働き方改革に対する懸念</li> <li>・地域密着型なので抵抗感がある</li> <li>・高齢化による活動の制限</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・団員の負担を減らすなどの対策をしており、SNSなどを通じて、情報を発信し、古くからの悪いイメージを払拭したい</li> <li>・防災意識向上のため小・中学生や高校生を対象に消防団広報活動をしている</li> <li>・消防団員の報酬の改善を進めてもらいたい</li> <li>・支援団員は消防団OBのみで、あくまでも後方支援</li> <li>・消防団支援委員のなどの設置(条例の制定等も含め)</li> <li>・機能別団員の導入を検討して欲しい</li> </ul>	
<p>【班としての総括・今後の方向性】</p> <p>令和9年度に今市・日光・藤原・栗山の4消防団を統合する計画で現在再編に向けて準備が進められている。今年度は統合の検討の周知・調整等を行い、令和8年度には条例の改正及び統合準備をし、令和9年4月には団統合を行うとしている。具体的には消防団本部組織に今市支団・日光支団・藤原支団を設置して新たな消防団として再編する。</p> <p>今回の意見交換では、各消防団において、統合することについて一定の理解が得られたと、また現在、各消防団間で定期的に統合に向けた情報交換がなされているとのことであった。統合の目的である団の連携強化や災害時の対応力(地域防災力)の向上、組織の維持(団員減少対策)についてのたくさんの意見をいただくことができた。統合についてはメリットばかりではなく、課題(デメリット)もあるが、その解決・解消のため、今後検討・調整を十分図っていくとのことであった。統合については、最終的には条例改正が伴うため、議会での議決が必要となる。今回の議会報告会で、統合のメリットやデメリット、それぞれの消防団の現状や課題を共有できたことは、非常に参考となるものであった。</p> <p>所管事務調査事項である「防災・減災対策について」、地域防災力の強化は喫緊の課題であり、地域住民の生命と財産を守るために日々努力されている消防団との連携は今後も継続・強化していくべきである。また、火災や自然災害など行政と消防団などの関係機関だけでは防災活動が十分に行えないことから、官民一体となって地域防災を支えていけるような方策等について議論を継続していく。</p>				

広報広聴委員長 様

上記のとおり報告いたします。

令和 7年 8月 8日

班長 斎藤 伸幸